

医療機関のためのやさしい レセプトデータ分析の 基本とすすめ方

～診療報酬データ分析の基礎を体験的に学ぶ～

◆◆レセプトデータ分析やデータ活用方法を習得!◆◆
医療制度の変革により、データ抽出や分析の重要性が増してまいりました。

さらに、近年の厳しい診療報酬改定ともなって効率的な経営が求められ、そのために自院のデータを分析し、経営上の強みと弱みを把握して今後に反映していくことが必須となっております。

本セミナーでは、医療機関におけるデータ分析について基本から理解するとともに、病院経営に寄与するための着眼点を習得いただきます。この機会に、関係各位多数の積極的なご参加をお勧め申し上げます。

ね
ぶ
い

日時 平成28年
9月27日(火) 10:00～17:00
(1日/6.0時間)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 (別紙図参照)
TEL (03) 3403-1972

講師 河合医療福祉法務事務所
行政書士・社会福祉士 かわい ころろ
河合 吾郎氏

参加料 会員：32,400円(税込)
一般：37,800円(税込)
※テキスト・資料代含む

対象 ● 医事課・情報部門の方々、レセプトデータ分析の
基本を学びたい方
● レセプトデータ分析を基に、経営資料作成方法
等を学びたい方

一般社団法人日本経営協会

プログラム

1. なぜデータ分析が大切なのか？

～医療制度の現状と今後の展望～

- (1) 日本の国民医療費の現状
- (2) 近年の診療報酬改定と
2025年に向けた医療制度の今後の展望
- (3) 医療制度から見るデータの重要性

2. レセプトデータ・経営分析の手法

～基礎編～

- (1) 診療報酬請求の仕組みと
診療報酬明細書の記載事項
- (2) 診療区分毎によるレセプトデータ分析
- (3) 抽出項目とベンチマーク

～実践編～

- (4) レセプトデータからどんな分析が可能か？
- (5) レセプトデータ以外での経営指標
- (6) 実際にやってみよう！PPM分析の一例

3. 診療科別成果計算(原価計算)

- (1) 収入を入院別・診療科別に分ける
- (2) 成果計算(原価計算)の仕組み
- (3) 費用については、直課できるものはなるべく
直課する
- (4) 直課できない費用についての配賦方法
- (5) 成果計算(原価計算)応用編
・・・手術の術式別成果計算について

4. DPCデータの活用方法

- (1) DPCの概要
- (2) DPCと出来高を比べてみよう！
- (3) DPCデータの分析による診断群分類毎の傾向

5. 病院未収金データの分析から見える対策

- (1) 病院未収金の現状
- (2) 未収金データの分析と対策のポイント
- (3) 未収情報をデータ管理しよう！
未収金管理システムの紹介

6. 本日のまとめ

- (1) SWOT分析により自院の戦略をイメージし
てみよう！
～データ分析を活かして～
- (2) 今後のデータ分析の役割と重要性
- (3) 医療機関の職員が今後すべきこと

※電卓をご持参ください。

講師プロフィール

河合医療福祉法務事務所
行政書士・社会福祉士

かわい ころろ
河合 吾郎氏

1974年静岡県浜松市生まれ。中央大学経済学部卒業。2001年社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷浜松病院に入職し、医事課・医療情報センター・経理課などを経験する。在職中に、業務を通じて法律の重要性を再認識し、行政書士・社会福祉士・個人情報保護士などの資格を取得し、2011年8月に医療福祉を専門とする事務所を開業。病院での勤務経験を活かし、様々な角度から医療機関の運営支援を行うことで地域医療の発展に貢献することを目指している。